



くら た かん じ
倉 田 寛 次

しみん
市民クラブ

学習支援ソフト等の選定に有識者の意見を

問 全国学力・学習状況調査の結果が、今年度も三重県は全国で最下位レベルだった。

教える教員側にも問題があり、底上げが必要と考えるが、各学校において学習プリント等を作成することができる学習支援ソフト等の選定方法にも問題があるのではないか。

有識者を含めた審査会等を設置して、選定する考えはないか。

有識者を含めた選定を検討する

答 各学校で使用する学習支援ソフト等については、教育委員会で一括して選定しており、求める機能の基準や条件を可能な限り詳細に仕様書に記載した上で、その仕様に適合するかどうかの認定を行っている。

現在、選定に当たって、学校の教員の意見を聴いてはいるが、外部の方の意見は求めている。

このことから、今後、仕様書の作成段階で、事前にソフトウェアの審査を実施することとし、その審査を行うために、外部の有識者等で構成する審査会等を設置することについて、前向きに検討していく。

●その他の質疑・質問●

- 市有財産の管理について
- 不法占拠されている土地や建物があるのでは
- 道路、橋梁の点検整備について



▲道路、橋梁の点検整備にドローンの活用を



よし だ ひろ やす
吉 田 博 康

けん と
県都クラブ

災害時の受援計画策定の状況は

問 三重県は、国の南海トラフ地震発生時における重点受援県に該当している。

発災時には多くの物資・人的支援が予想されることから、受援体制の構築が重要である。

県は、平成30年3月に「三重県広域受援計画」を策定し、津市では、同時期に「業務継続計画（BCP）」を策定したが、津市における災害時の受援計画の策定状況はどうか。

今年度末の策定に向けて取り組みを進める

答 「三重県広域受援計画」は、災害発生後、迅速かつ的確に応急対策活動を実施するとともに、国、他県、関係機関等の応援を円滑に受け入れ、効果的な被災者支援につなげることを目的としている。

今年度、津市は、三重県が実施する「三重県市町受援計画策定手引書」検討ワーキンググループやブロック別意見交換会に参加している。

津市における災害時の受援計画については、県内の他市町と共に「三重県広域受援計画」と連携して円滑な受援活動が行えるよう、今年度末を目標とした策定に向けて、取り組みを進めていく。

●その他の質疑・質問●

- 小中学校へのエアコン設置について第2期と第3期の設置工事の具体的なスケジュールは
- 幼児教育の無償化に向けた公立幼稚園の在り方についてH31年度の募集結果は。小規模な園の今後は。無償化による影響は
- 新学習指導要領に向けてデジタル教科書の推進を
- スポーツ施設の維持管理の考えと今後について など



▲自治体として災害時の受援体制の構築は急務である